

# 水鳥の住み分け

伊豆川

鳥は移動性が高いので鳥種毎に、餌のとりやすい環境へ移動して生活する。箱根での水鳥の主な越冬湖沼は芦ノ湖とイタリ池ですが、環境の違いで、住み分けしている。

## イタリ池って？

仙石原のゴルフ場（箱根カントリーコンソーシャルクラブ）内の湿地原生林にあります。

芦ノ湖には約200羽の水鳥が越冬しますが、イタリ池はわずか約3haにもかかわらず約100羽も水鳥が越冬します。

一般立入り禁止



## 御殿場・足柄平野 夜間採餌

冬でも水溜りの残る水田(湿田)

稻刈り後の二番穂、落ちもみを水と共に吸い込む。

乾田化工事で餌場ほぼ消失



主要種の主な生息分布です。  
伊豆川哲也、原田育生、川合英利らによる日本野鳥の会神奈川支部  
水鳥カウント結果(2017~2024年)を元に伊豆川が考査。

## 芦ノ湖

水際の芝草、水草食  
・ヒドリガモ



底生動物食  
・ホオジロガモ



### 環境特性

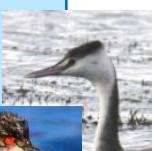
- ① 岸が急傾斜  
→水生植物帯がほぼ無い。
- ② きれいな水質(貧栄養)  
→プランクトン少ない。
- ③ 小魚多い
- ④ 水草少ない

潜水して魚食

・カイツブリ・カワウ



・カンムリカイツブリ



・ハジロカイツブリ



## 両方 (芦ノ湖とイタリ池 往復)

水際の水草食、  
昼間は寝る

- ・マガモ
- ・カルガモ
- ・オカヨシガモ



水際の水草も底  
生動物も食べる

- ・オオバン



底生動物食

- ・ホシハジロ
- ・キンクロハジロ



水際で魚食

- ・カワセミ
- ・サギ類



## イタリ池

私有地のため一般立入り不可

表層プランクトン食

- ・ハシビロガモ



### 環境特性

- ① 古代の仙石原湖の水底
- ② 水深が浅い
- ③ プランクトン多い (富栄養)
- ④ 小魚少ない
- ⑤ 水草少ない

イタリ池で冬鳥バードウォッチング！  
2025年2/2(日)、9(日)、11(火祝)

★ネイチャーツアーin箱根カントリーコンソーシャルクラブがスタート。  
★普段は立入りできないイタリ池や湧水湿地原生林のツア。  
★ご案内は巻末。★募集詳細はビジターセンターhp掲載予定